

種別: 成年男子



大会名 第61回国民体育大会 ソフトボール競技

試合番号: 12



試合日	平成18年10月3日	第 3 日目	第二試合	準々決勝	会場・球場	相生スポーツセンター (B)	
開始時間	12時33分	終了時間	14時22分	中断時間	0時00分	試合時間	1時間49分
(球審)	五十嵐 隆	(一塁塁審)	宮脇 昭介	(二塁塁審)	久宗 淳三	(三塁塁審)	後藤 正久
(副審1)	古沢 公一	(公式記録員)	前田 淳子	(主任記録員)	松村 晴美	(放送員1)	木下みどり
(副審2)		(パソコン記録員)	佐野 準治	(補助記録員)	今津 義久	(放送員2)	

チ ム 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	安打	失策
高知県	1	0	0	0	0	0	2								3	4	1
京都府	1	0	0	0	2	2	x								5	6	1


チ ム 名	投 手	捕 手
高知県	[ ] 山尾 竜則	池澤 賢次
京都府	[ ] 松田 光	大西 達也

チ ム 名	(本 塁 打)	(三 塁 打)	(二 塁 打)
高知県	小野 洋平		岡本 友章
京都府		長岡 孝	森 雄一

**(戦評) 京都府は、効果的に追加点を挙げて準決勝進出！！**

京都府は、初回先頭長岡が安打出塁し、ワイルドピッチの間に判断よく三進。井口の内野安打で同点に追いつき、5回には長岡の適時三塁打で2点を加え、尚も6回に森の二塁打等で2点を加えて、勝利を決めた。

一方、高知県は初回岡本の二塁打で小野が生還し、7回には小野のバックスクリーンを越える本塁打で追い上げるも後続を断たれ涙をのんだ。

副記録長	
記録主任	